

■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】： 事故発生時における後続車両の安全な遮断方法
【背景・課題】： 事故発生時においては、通報を受けた後、高速隊やパトロール隊が駆け付け、通行規制や通行止めを実施しているところである。事故発生の認知するまでのタイムラグもあり、発生現場での後続車両やパトロール隊の安全確保が課題（2次事故等の防止）となっている。
【ゴール・目標】： 事故発生時など非常時に活動可能なドローンなどの無人飛行装置の活用や中央分離帯の開口部の増設など、ソフト・ハード面で対策案が提案され、実用化されている。 結果、パトロール隊員や一般道ドライバーの安全性が向上している。
【実現イメージ】： ・災害発生時のお客さまの安全確保とライフライン機能維持
【取組み】： ・車両や個人の I C T 機器と連携した避難誘導方法や交通制御手法を確立
【対象設備－対象構造物】： ・防災・安全 － 安全対策
【業務分野】： ・交通

(2022年9月時点)